

●越智入菜#01～アシスタント美大生と先生～

●背景：作業部屋（夜）

（絵師の主人公、作業部屋で作成中）
（越智入菜は美大生でアシスタント）
（作業部屋は少し狭く、デスクはL字）

先生え。もう作業休んだ方が……。

（主人公「今日はもっと頑張るぞ」）

でも、先生……。明日はうちの大学で講師ですよ……？
先生が締めきりをしっかり守る絵師さんなのはわかりますが、
いくら奥様が産休中だからって、
働きすぎたら疲れちゃいます。

（主人公、入菜の方を見る）
（入菜はイラストラフを数枚めくってチェック）

これだけラフをいただければ企業さんも大助かりですよ。

（入菜、主人公の方を見る）

あの。
休めと言っておいてなんですが……、
奥様の代わりにお子さんの面倒、見ないんですか？

（主人公「妻がやっちゃうからな」）

奥様だって体調つらいのに大変ですね……。
あ、わたしの協力が必要だったら言ってくださいねえ？

あの子、いいですよ～♥
いつもおっばいおっばいって抱きついてきて可愛いんですよ～♥

(主人公「そ、そんなことされてるのか!」)

んふ♪ 怒っちゃダメですよ～。
まだ子供なんですから～。

それに先生には大学でも講義教わってますし、
アシスタントとしても働かせていただいていますっ。

たくさんのお恩があるのでおっぱいのひとつやふたつ、
喜んで差し出しますよ～♪

(主人公「あまりそういうことは言っちゃダメだ」)

え～? こういうこと言っちゃダメなんですか?
先生はお堅いなあ。

(主人公「それより作業するぞ」)

あ、また作業しようとしてるー。

(主人公、再びデスクで作業)

も～……休んでほしいのに……。
心配だなあ……。

=====

●越智入菜#02～ぶりっこピッチは拗らせたオヤジフェチで誘惑する～

●背景：作業部屋（夜）

(パート11の数日後)
(入菜、主人公の隣にいる)
(背景のラフを数枚めくり、ふたりにチェック中)

ん〜……。

この背景だとヒロインの感情が浮きませんかあ？

海なのになんか物憂げで意味深というかあ。

これは逆にディープすぎますねえ。

エッチです。

あ、これいいですね♪

わたしはこの背景ラブが第一候補です♪

(主人公「よし、これにするか」)

わ〜♪

選んでくれてありがとうございます〜♪

この背景ラブをもとにして、先日いただいたキャララブ乗せましょう。

で、彩色に入っていきますよ〜♪

あ、ところで奥様の体調は大丈夫ですか？

結構お腹大きいですよね？

(主人公「ああ、だから寝かしてやらないと」)

んふっ、そうですね。

気をつかって起こさないようにしてあげないと。

……でも、羨ましいですよね〜。

はあ……。

わたし、赤ちゃん好きなんです。

まだ大学生ですけどお、とろくてウザいって言われちゃって、

あまり男の子ウケよくなくてえ……。

モテないまま大学卒業したら、

出会いとかなくなるじゃないですかあ？

だから彼氏すら作れないんじゃないかなあって。

(主人公、悶々とし始める)

先生？ どうしたんですか？

(主人公「い、いや！ なんでもない！」)

(主人公、勃起する)

でも、さっきからもぞもぞ——

(入菜、主人公の勃起を確認)

え……ッ。

こ、これって……。

(主人公「すまん！ 吐息が触れて……」)

と、吐息？

わたしの？

吐息で……あ、あの……反応、を……？

あ……………。

う……………。

んふふ……っ。

あ、う、う……。

……あの、これって……いつもはどう、処理を……？

(主人公「処理って……？」)

そ、その……ひとりで、出すのかな、ってえ……。

(主人公「最近は忙しいからなあ」)

そうですね……締めきりがありますし、

全然そういう時間、ないですよええ。

わかります。

はい……。

……奥様も妊娠されてますし、
これ……大変じゃないですか……？
ま、まだ……元気なままですし……。

(主人公「み、見るなって！」)

あのっ、よければ……出してみても、いかがですかあ？
そ、その……ひとりで……。

(主人公「時間があればな」)

時間があればって……そうやって後回しにするから、
わたしなんかの吐息で反応しちゃうんです……っ。

わたしが見てますので、どうぞっ。

(主人公「いやいやいや」)

拒否してもダメです。
溜めてしまうとストレスになると聞いてます。
なので……ね？
先生、ご自身にも優しくしてください……。

(主人公「敵わないな……」)

ふふっ、聞いてくれますか？
では、脱いでくださいね？

(主人公「わかったよ」)

(主人公、ズボンを脱ぎ始める)

わあっ。

(入菜、主人公の方を向く)

(ズボンを脱ぎ終える)

わたし……ちょっとわくわくです♪
男の人の、見るの初めてなのでえ……♪
すごい……♥

(ペニスが露わになる)

これが、先生の……。
おちん、ちん……。
元気ですねえ……♪
いつもどうやってするんですか？

(主人公、ペニスを握る)

わあ……っ。
な、なんだか……にぎにぎしてるのを見るだけで、
え、エッチですね……んふっ……♪

それで……どう、動かすんですか……？
男の人がどう感じるのか……ちょっと気になるので、

見せて、ください……♪
わあ……♪
エッチだあ♪
んふっ♪

(入菜、屈みながら囁きかける形)

では、わたしはあ……。
お耳、ぺろぺろ♥

れろ、れろ……ちゅ、ちゅくう。
いいですよねえ？
吐息でおっきたので……れろ、れろっ、たぶん先生え、

お耳が弱いと思うのでえ。

んぷぷ、ちゅ、ちゅくん、ちゅ……ちゅる、ちゅ……んん、ちゅ。
れろれろ、んぷぷ、ちゅ、ちゅ、ちゅううう、チュツ。

はあ……♥

ちょっと、悶々しちゃいますね～……。

(主人公「なにがだ……?」)

だってえ、いま先生がにぎにぎしてるおちんちん……、
このおちんちんで……先生、奥様を赤ちゃん作ったんですもんね……。

憧れの先生が、このおちんちんでって考えたら……、
れろれろれろれろれろ……んんん、ちゅく、ちゅうううッ。

んんん、ちゅく、ちゅむん、チュツ。

ちょっと……ね?

んふふっ♪

ぺろぺろぺろぺろ……んんむうう、ちゅくんん、ちゅッ。

れろれろれろッ、ぷちゅくんん、ちゅ……ッ。

気持ちいいですか?

おちんちんと、お耳。

れろれろっ、ちゅ、ちゅくう、ちゅ。

ペースあげてくださいね♥

あ……お手々疲れるようでしたら、

わたしが代わりますよ?

(主人公「い、いいって!」)

そ、そうですか……?

遠慮しなくていいのに……。

わあ……♥

すごい、音……っ。

な、なんだか、恥ずかしいですね……。
意識しちゃいます……。

(主人公「慣れてるんじゃないのか?」)

ちゅ、ちゅう、ちゅ、ん、ちゅ、ちゅ。
ん? 慣れてる?
んふふ……先生はわたしがこういうの、慣れてるって思ってるんですかあ?
あ……ひとつ勘違いされてるかもですけど……、
わたし、処女……ですからね……♥

慣れてるからこういうの提案したわけじゃなくて……、
大切な先生が苦しそうだから……提案したんです……♥

んぷふうう、ちゅくんん、チュッ、チュッ。
れろ、れろ、れろ、れろッ、んむむ、ちゅくんん、チュッ。

こっちも——
んしょ♪
ぺろぺろさせて……♥

(耳舐め開始)

んぷふうう、ちゅ、ちゅくうう、チュッ。
んぷ、ちゅる、チュッ、チュッ、チュチュチュッ。
んんんんッ、れろれろれろおんんん、ちゅくッ、ちゅるるッ。

はあ……ああ、んくんん、ちゅく、チュッ。
匂いが……こっちまでのぼってきましたねえ♥
うう……ん、お顔熱い……笑

自分から提案したのに……、
わたしの方がおかしくなっちゃうよお……。

わたし、彼氏いないので……こういうの耐性が……。

ちゅ、ちゅうう、ちゅ。

あ、余談ですけど……。

わたし……年上が好きなんです。

うんと年の離れた男性の……懐の深さが居心地よくてえ……♥

れろれろ、んふ、ちゅ、ちゅうう……チュツ。

ちゅるッ、ちゅ……ッ。

特に……先生くらいの年の方が好き……♥

年の離れた男性と、結婚して、赤ちゃん作って……♥

いっ～～ばいイチャイチャしたい♥

れろれろれろお、んんん、チュツ。

先生が独身だったらよかったのに……♥

(主人公、かなり昂ぶる)

ん～？

あれれえ？

先生……鼻の穴、広がりませんでした？

んふふ……先生？

もしかして……意識してくれましたかあ？

はあああああ……♥

わたしも、意識しちゃいそうです……♥

あの……よかったら、

おつゆ出るところ……見せてくれませんか？

記念に……♥

わ……っ。

んふふ、すぐに応えてくれましたね……♥

ふううう……。

ん、んう……出してください♥

ストレス……全部吐き出して……ッッ♥

(オナニーで射精)

わッ!

す、すごい……ッ。

先生、いっぱいどぶどぶ……っ。

おちんちんのことよくわからないけど……、
これって……いわゆる溜まってるって状態ですか……？

わあ……こんなに出るんだあ。
この勢いで……奥様の……。

ごく……。

あっ。

拭きますね？

(入菜、机の上のティッシュを取る)

(入菜、主人公の股間の前でしゃがむ)

(入菜、ティッシュ越しにペニスに触れて拭う)

(主人公「ああ……ッ」)

だ、大丈夫ですか……っ？

おかしい声を……。

(主人公「違う……ごめん。感じちゃって」)

あっ！ ごめんなさい！

感じちゃってたん、ですね……。

ごめんなさい……っ。

あの……これ、ふたりきりの内緒にしましょ……？

だれにも言えませんし……。

わたしとしては……とてもいい思い出になりました……♥

好きな先生のこと……またひとつ、知れたので……♥

=====

●越智入菜#03～共通のヒミツ～

●背景：大学食堂（日中）

（主人公が食堂の椅子に座っている）

（入菜が歩いている（手にはケーキを乗せたトレイ））

あ……。

先生え♪

（主人公の正面向かいに立った状態の入菜）

食堂にいるなんて珍しいですね♪

いつも別室でこそこそお弁当食べてるじゃないですか～。

わたしもご一緒いいですか？

（主人公「いいぞ」）

ありがとうございます♪

（主人公「お前、それしか食べないのか？」）

ん？ はい。わたしの昼食はケーキだけ♪

お腹ぐーぐーしちゃうの講義中に怖いんで、

朝っぱらからばかばか食べちゃって。

あまりお腹減ってないんですよ～。

（入菜、フォークを手に取る）

先生♪

(ケーキをフォークで取り、主人公にあ〜んと差し出す)

はい。

あーん♥

(主人公「お、おい」)

いいからいいから♪

あ〜ん♥

(主人公、食べる)

やった♪ 食べてくれた♪

味はどうですか？

このケーキ、美味しすぎる学食って取り上げられたんですよ〜？

先生は頭使うんですから、

ちゃんと糖分も取って癒されましょう♪

(主人公「運動もしないとな」)

んふふ♪

そうですね♪ 糖分を取ったらちゃんと運動♪

運動も大事です♪

わたし、おつきあいしますよ♪

先生は忙しそうですし夜、一緒に運動しましょうね♪

う・ん・ど・う♪

(主人公、「運動」によからぬことを想像して気恥ずかしくなる)

あれ？ なんで恥ずかしそうなんですか？

わたし、なにか言いましたっけ？

んふふ♪

……あ、それと「あ〜ん」しちゃったのは奥様に内緒♪
ふたりだけの秘密ですよ♪

(主人公「お前なあ……」)

あのね？

(入菜、ケーキを食べる)

んむ、ん、んっ。

先生は、わたしのことどう思ってる？

(主人公「どうって？」)

ぶりっこの痛い子って思う？

でも……先生にはわたしのこと……。

ううん。本当のわたしのこと、見ててほしいな。

(主人公「本当の……？」)

うん。本当のわたし。

先生、アシスタント募集してて……わたし、すぐ名乗り出たじゃないですか？

あの時、志望動機で先生のイラストが好きって言いました。

でも……それだけじゃないんです。

わたし……先生のことはひとりの――。

ううん。

なんでもない♪

さ、食べましょっか♪

=====

●越智入菜#04～年下JDの口腔えっち～

●背景：キッチン（夜）

（入菜、キッチンで料理中）
（主人公、リビングに入ってくる）

あ、おかえりなさい。

（主人公「入菜？ どうしてキッチンに」）

奥様が体調悪いとのことだったので、
わたし、お料理代わってま〜す♪

（主人公「い、いいのか？」）
（入菜、コンロ前に移動）

いいんですよ〜♪
遠慮しないでください♪

わたしもいつもお世話になってますし。
お料理で恩返しさせてください♪

（主人公「手伝おうか？」）

いえいえ。わたしひとりでやりますので〜。
それとも、下剤かなにか入れるんじやって疑ってます？

（主人公「そんな疑うわけがない」）

信じてくれてよかったあ♪
んふふ。
さ、座っててくださいね。
わたしが手料理しちゃいますから♪

（場面移動）

●背景：作業部屋（夜）

(食後、主人公が作業部屋でオナニーしている)
(料理に媚薬を入れられて悶々している)
(入菜は帰ったふりをしている)

すみませーん。忘れも――

(入菜、オナニーを目撃)

へっ！？

(主人公「か、帰ったんじゃ……！」)

えっ……あ……。

あの……一度帰ったんですけど……忘れものしたって、思い出して……。

(主人公「鍵は？」)

か、鍵……？

あの……奥様から、合鍵を……。

それより……あ、ああ、あの……。

ごめんなさい！

ひ、ひとりでし、してるどころ見ちゃって！

(主人公「ごめん……食後にムラムラして……」)

え……？

しょ、食後にムラムラ？

あの……別に精力のつく料理じゃなかったはずですがあ……。

なにか入れたとかでもないですし……。

(主人公「こっちこそごめん！ いましまう！」)

あ！

しまわないでください！

あ、あの、秘密にします。
誰にも言いません。
あの……も、もしですよ？
もし……そのムラムラが抑えられないなら……。

ごくっ。
あ、いえ……。
なんでも、ないです……。

(主人公「な、なんだよ」)

いえいえいえ……！
あの……っ、既婚者に言うには失礼だと思ったので……。

(主人公「……内緒にするなら、抜いてほしい」)

え……？

んふふ……。
先生から、抜いてほしいなんて言っちゃうんですね。

(主人公「ごめん……前、俺のこと好きって……」)

はい……好きです。先生の、こと……。
あの……いいんですか……？
わたしとしたら……その……もう、その……、
浮気、ですよ……？

(主人公「内緒、だから」)
(誘われたていですが、入菜の内心はしてやったりです)

はい……内緒、ですね。
内緒なら、いいんですね……？

……好きな人のためなら……。
一緒に、罪背負って隠しちゃいましょう。

ティッシュ使うと、匂いで奥様にバレちゃうので……。
ごっくん前提に、おくちで……♥

(入菜、亀頭を舐めるフェラ開始)

れろれろれろれろれろ……。
ぷちゅうう、ちゅ、んんん、ちゅる、ちゅく、ちゅ……んん、ちゅる、ちゅ。

(主人公「な、慣れてる？」)

んふふ、慣れてないですよお。
初めてです……でも、舐めてあげたいって気持ちで——

れろれろ、んんん、ちゅ、必死にやったら、できました……♥
れろれろ、んぷ、ちゅる、ちゅ、れろれろ、んんん、ちゅく、ちゅ。
れろ、れろ、んん、ちゅ、ちゅる、ちゅ。

れろれろ、ぺろ、ちゅ、んんん、ッ。
んんんん、ちゅむ、頑張ってシコシコするから……、
れろれろッ、ちゅ、ちゅ、いっぱい、気持ちいいになってくださいね……♥

れろッ、んぷぷ、ちゅ、ちゅくんんん、ちゅッ。
ちゅ、ちゅうう、ちゅ……んん、ちゅ……。

普通に舐めるだけじゃ……つままないかな……。
タマタマとか……どうですか？

(睾丸舐め開始)

れろれろれろ、んぷちゅう、ちゅ……ッ。
ちゅく、ちゅ、んん、ちゅ……ちゅ、ちゅくう、ちゅ。

れろれろれろ……んんん、ちゅくんん、チュッ。
タマタマの袋が……ちよつとずっしり。
れろっ、んん、ちゅ、ちゅむうう。

(主人公「キンタマと入菜……ギャップすごいな」)

んふふ……ギャップすごいですか？

でも、本当に初めてですよ……♥

わたしの初めて奪った感想はどうでしょう？

ちゅむ、ちゅ……れろ、れろッ、んん、ちゅく。

ちゅ……ちゅうううう。

(主人公「興奮する……」)

興奮？ ふふっ……やった♪

おちんちん熱いし……♥

可哀想……早く、射精させてあげないと……♥

このままびゅっとしちやったら、

お顔にどばっですわね……♥

なので——

(入菜、啜えフェラ開始)

むちゅむうううッ、チュッ、ずずずずうううッ。

ぢゆるるる、ヂュッ、んんむ、ぢゅ、ぢゆるッ、ぢゅううッ。

全部、先生のために……ッ、やってるんです……ッ♥

ぢゅぶッ、ぢゅううう、ヂュッ、ぢゅくうううッ♥

先生のために……本気で、わたし……ッ♥

ぶぢゅ、んんん、ぢゆる、ぢゅッ、ぢゅくッ。

(主人公「で、出そうだ」)

出ますか？

いいですよ♥

ふはあ。

お口に出してください……♥

ちゅくッ、ちゅん、チュッ、ちゅる、ズズズッ。
ちゅううう、ちゅく、ちゅううう、ズッ！

出してください♥

おつゆ……ッ♥

飲ませて♥

ちゅふう~~~~~ッ！

(口内射精)

ンぷッ！？

ン……んんんん……ッ！

あふううう、ん、んう……ッ！

たくさん……ッ、お口の中……ッ！

ふう、ふう……ッ。

んんううう……ッ。

んッ、たくさんのおつゆを……ありがとうございます……♥

ふひゅ……っ。

見ててください……。

ごくッ、ごくッ……ごくッ……ごくッ。

はああああ……♥

ごちそうさま……♥

わたし、ちゃんと処理できました……♥

でも……。

秘密、増えちゃいましたね……♥

わたし、先生の女になりたかったので……、

浮気でも……こうしてできたこと、幸せです……♥

ただ、一緒にいて……、
特別な存在になれるだけでいいんです♥

それくらい……先生のこと……♥

=====

●越智入菜#05～【既成事実】ぶりっこJDによるご都合主義の膾支配～

●背景：主人公宅・キッチン（夜）

（入菜、キッチンで食器洗い中）
（遅れて主人公が入ってくる）

あ、作業お疲れ様です♪

（主人公、入菜を見る）

奥様寝ちゃいましたよ～。
辛そうだったのでお話しにつき合っ
そしたら、ぐっすり。
ふふ、妊婦さんって体調管理大変ですからね～。
ストレス解消は大事です♪

（主人公「家事までしてくれたのか？」）

はい♪

家事は慣れてますから♪
夜中ですけど、いまのうちに朝ご飯の用意もしちゃってから帰りますね～。

（主人公、入菜の背後に立つ）

せ、先生？

ひゃ！

(主人公、バックハグをして入菜の右肩に顔を乗せる)

先生……？

どうしたんですか……？

いきなり、は、は、ハグう……！

これは……せ、先生が好きなわたしには、
刺激が強すぎます……！

(主人公「いつもありがとう」)

え？ あ、ありがとう？

家事のこととか、ですか？

ふふふ、この状況で言われると……ドキドキしちゃいます……。

わたし、先生のためならなんだってします……。

先生が好きなので、先生の家も守るし、

こうして、胃袋も支えて、お子さんの面倒も見て……、

そ、それから……、

せ、性処理……だって……。

(主人公からキス)

んふ……！

ちゅッ、あ、先生……！

ん、ちゅ、ちゅく……ちゅ……ッ。

先生……♥

そんなことされたら……、

(主人公「抜いてくれ」)

今日も……シコシコ、抜きますか？

……先生が求めるなら、いいですよ……。

(入菜、臀部に勃起したペニスが触れている)

ん……た、たしかに……。
硬くなってますね……。
お手々かお口……どう、ですか？

ひゃ……！
せ、先生……！
す、スカート、ダメ……あ……。

待ってください……！
あああ、あの……挿入は……！

(主人公、片手でズボンを脱ぐ)

本気、ですか？
うううう……っ。

(主人公、立ちバックで挿入しようとする)

ああ……っ。あの、い、入れたら浮気ですよっ？
いいんですか？
せ、先生……わたし、抜きはすると言いましたが、
それは、そ、そのっ、奥様の意志も尊重した方が……。

わたし、先生が、好きです。
好きですけど——
ンンンうううううッ！

(根元まで挿入)
(入菜、挿入と同時にイッたふりをする)

あああああ……ッ！
ううッ！ い、イッちやいました……ッ。

んくううッ、う、うううう……ッッ。
はあ、あっ、ああっ、先生の……おつきくて……ッ♥

はあっ、はあ……っ、よく、わからない、ですけど……、
不思議と、痛くないです……。
膜、あるはずなのに……。

イッちやったおかげで……、
痛み、緩和されたのかも……♥

先生え……♥
処女、もらってくれてありがとうございます……♥
でも……いいんですか？
これ、浮気です……。

ンあああ……ッ♥
あああッ、せ、先生……ッ♥
あやッ——んんうううッ、はああっ、あう、んんんッ。
くひゅッ、ん、んううう……ッ！

先生え……ッ♥
それ、気持ちいい♥
ああっ、で、でもっ、罪悪感が……ッ♥

(主人公「俺も感じてる」)

先生もっ、感じてるんですか？
罪悪感……っ。

はあっ、ああっ、あの、どうしていきなり、
おちんちん、入れるなんてこと……！

ううう……っ。
わたしに魅力感じてくれたん、ですね……っ。
嬉しいです、嬉しいですけど……ッ。

わたし、やっぱり奥様への裏切りになるんじやって、
はああ、はあ……ふ、不安です……っ。

うううう……ッ！
初めてのおちんちんうッ！
あああッ、ダメダメダメ……ッ！
気持ちよすぎちやうう……ッ！

あんッ、せ、先生えっ♥ ああっ♥
そんなされたら、あっ、諦めてた恋ッ、
叶えなくなっちゃうじゃないですかっ♥

アッ♥ ん、ん、んく、んううッ♥
はあっ、あ、ああッ♥

(主人公、シャツを脱がす)

んう……ッ！
お、おっばい、ですか？

はあっ、ん、んッ、脱がせるの、
手慣れてます……ッ。

(入菜、ブラ脱がしにつき合う)
(両手をシンクについているので、それを片方ずつ脱がす際に
手を離して手を突き直す)

はあ、はあ……っ。
ん、ん、う、ん……ッ、ああ、んくっ♥

んっ、んうう、んッ♥
お、おっばい、どうですか？
はあっ、はあ、一応、奥様より、
大きいかな……っ、なんて……っ♥

(主人公、じかに乳揉み)

あああッ♥
んんん、くひゅっ、あっ、あああッ♥

おっばい気持ちいい♥ ああ、おっばい、あぁっ、おっばいすごい♥
イかせてください♥
もう立ってられませんううッ♥

ひゃう~~~~……ッッ♥
ンンンンッッ♥

ああああッ、んんくうッ、んんッッ♥
イッてくださいいいッ♥
先生もッ、先生にはッ、わたしのおまんこのナカでイク権利があるんですうッ♥

イッてえッ♥
中出ししてくださいいッ♥
念願の種付けですうッ♥
ンやあああ~~~~~ッッ♥

(同時絶頂 (中出し))

やああああああああッ!

んあああッ♥
はあああッ、んぎゅッ、うううッ、んく、んっ♥

搾られちゃううッ♥
んあッ♥ ごめんなさいいッ♥
締めちゃうッ、う、んああッんく、ん……ッ♥

(主人公「ごめん……ッ、独身の子に中出しを……ッ」)

いえっ、謝らないでください……ッ。
出させてるのは……わたし……ッ♥

あっ、ああ……♥
んあああ……♥
はあ、はあ……。

(主人公「ついてきて」)

え？ え？

(主人公、入菜の手を掴んでソファへ連れていく)

まだ、出るんですか？

●背景：主人公宅・リビング（夜）

(主人公がソファに寝る)

上、ですか？

(入菜、主人公の上に跨がって騎乗位)

(主人公「入菜が動いて、気持ちよくしてくれ」)

そうですね……。

わたしが……気持ちよくします……っ。

あんんんんん……ッッ♥

(根元まで挿入)

うううううッ！

はあ、はあ……ッ。

うううううッ！

アッ、あ、ああッ♥

先生、後悔しないでくださいね……ッ！

はああ、はあああッ♥

あっ、アッ♥ わたしを求めたこと、

後悔しないで、これからも、あ、あの……ッ♥

(主人公「ああ、これからもしよう……！」)

へっ？

ほんとに、これからもしてくれるんですか？

いまの……っ、

聞きましたからねッ♥

はあ、ああっ、ちゃんと、覚えておきましたあッ♥

忘れたなんて言わせませんう♥

んんん、んくッ、んん、んっ♥

念願、ですからあ♥

んふふふふ♪

はあ、はあ……っ♥

わたしを、束縛してえ♥

(入菜からキス)

んぷうう、ちゅっ、ちゅうううう、れろれろれろッ。

ちゅうううう、ちゅ、れろれろ、んんんッ。

はあ♥

んうああ、ん、んくうう……ッ♥

おちんちんの熱が、じわじわと、こみ上げてますねえ♥

やああ、ん、んくッ、んんんんッ♥

もお、んん、んう、わたし、骨抜きになっちゃうう♥

こんなに憧れの人にとろとろにされたら、ああっ、アッ♥

誰だって、女の子になっちゃいますよお♥

(主人公「でも俺、既婚者だ……」)

んふふ♪

既婚者？ 関係ありません♥

だって……先生え、求めてくれたじゃないですか♥
それに、中出しも♥

ンう~~~~~……ツツ♥
はああ、ああッ♥

ンんう♥
ぐちゅっ♥ ぐちゅううッ♥
アアッ♥ 先生え♥ 好き♥ 好きい♥

んうあッ、はあっ、はあッ♥
迫ったのは先生え♥
浮気を求めたのも先生えッ♥

んふふっ♥
はあっ、ああッ♥
イッてくださいいッ♥

出してくださいいいッ♥
奥様を孕ませた赤ちゃんの素おッ♥
わたしの中にもッ、もう一度お♥

(主人公「待て！ 今日、安全な日か？」)

んふふッ♪
いまさら、危険日か安全日なんて気になるんですかあ？
もう、そういうの越えた関係になっちゃってるのにいいッ♥

ああああッ♥
出して♥

カリ高の生ハメ勃起チンコ♥
種付けザーメンぶち込んでえッ♥

あんう~~~~~ッ！
イクイクイクッ♥

あああああああッ♥

(同時絶頂 (中出し))

やんう~~~~~ッ!

ああああッ♥

先生えッ♥ 中にッ、どくッどくうう♥

ああああッ♥

はああッ、はああ……んくッ、んうう♥

やったあ♥

先生の……ッ、種付けえ♥

あああ……んんくうう、う、んん、ん♥

◆正面極近

最高の中出し♥

んふふふふ♥

(入菜、主人公にキス)

ちゅむ、ちゅ……ちゅふうう。

ちゅ……♥

先生え?

見てて?

ああああ……ッ♥

(ペニスが抜ける)

(抜けると同時に潮吹き)

やあああ~~~~~ッ!

あっ♥ ああッ♥

潮噴いたの、初めて……。

んく、んんんん……ッ♥

う、うんん、う……ツ。

こんなの出ちゃうくらい……感じちゃいましたあ♥

んふふっ♥

……先生え？

よりによって今日……。

中出し、しちゃいましたねえ♥

んふふ……♥

(入菜、ここからあえてタメ口に (本性を出してる))

毎日食事作ってあげててよかった。

先生……今日も昨日も、その前も……、

ずっとずーっと、おちんちん……疼いてたでしょ？

わかるよ？

だって先生の料理には……。

(主人公「な、なにを？」)

んふふ。

なんでもない。

ねえ？

だれが一番好き？

(主人公「それは……」)

言って？

(主人公「……」)

なにためらってるの？

言えよ。

(主人公「……い、入菜」)

んふふ……っ♡

ふふふふふふふ♡

そうだよねえ♡

わたしだよねえ♡

(入菜、頬にキス)

チュッ。

わたしも先生のこと愛してるよ♡

だから……、

離婚して？